

# 子どもの運動意欲における色の影響について

森田 亜純 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)

指導教員 松山 尚道

キーワード：子ども 色 運動意欲

## 1. 緒言

最近では子どもの体力低下や運動嫌い、体育嫌いという言葉をよく耳にする。そのなかでも筆者は、跳び箱に対して興味をもつ子どもに大きな差がみられると感じていた。そのときに教科書をカラーにすることで、子どもの学習意欲や学習能力が上がったという話を耳にした。そこで跳び箱も同様に色を変えることで、やる気を引き出すことができないか研究し、体育嫌いや運動嫌いの子どもを少しでも減らすために色が役立つか明らかにすることにした。

## 2. 研究方法

大阪府M市のいくつかの幼稚園の先生に、インタビューのように質問をまじえつつ、自由に対話をしていただいた。そして実際に行われている色を利用した取り組みなどをもとに、効率的な色の使い方を研究する。

## 3. 結果と考察

幼稚園では、うんていに一本ずつ違う色のカラーテープを巻くことで色が幼児の目標となり、運動意欲を引き出し実際に自ら進んでうんていに挑戦する幼児も増えているようだ。そこから跳び箱でも一段ずつ色を変えることで色が目標となり、それに加え跳べた段の色を塗れるという成績カードを利用することで色を塗る楽しさからも運動意欲を引き出せることができるのではないだろうか。また、色は運動意欲を引き出すだけでなく、工夫により幼児の成長を促す効果もみられていることもわかった。使用する場面において色の組み合わせなどを工

夫することで、年少のころから自ら周りを見て行動することもできるようになっている一例もある。このように実際に色を取り入れた指導を行うことで、色は運動意欲を上げることから成長まで様々な効果を見出せていることがわかった。

## 4. まとめ

本研究から現場で色は目印として使われることが多く、子どものやる気を出すことや興味を引き出すことなど、様々なことに色という存在は役に立っていた。また色を取り入れた指導により、体を動かすことに対して積極的になれたり自分で気づくということができるようになったりする効果もあらわれている。子どもの意欲を引き出すことに対して物の色合いが重要なのではなく、色を目標または目印とすることに価値があるのではないだろうか。

## 主要参考文献

- 1) 教科書法人教科書協会 (2007) : 直面する教科書発行の問題点 2007 年度版.  
[http://www.textbook.or.jp/publications/data/07tb\\_issue.pdf](http://www.textbook.or.jp/publications/data/07tb_issue.pdf)
- 2) 松本芳明 (2011) : とび箱・跳馬運動のルールと技術史の変遷, 体操競技器械運動研究, 19, 9-15.
- 3) 千々岩英彰 (1996) : 色を心で視る, 福村出版, 第 13 刷発行.
- 4) 千々岩英彰 (1990) : 色彩感情効果研究～断章～, 繊維製品消費科学会, Vol. 31, No. 9, 421-425.